

アオウミガメが産卵

奄美市笠利町佐仁の海岸で18日、アオウミガメが産卵した。地域住民と佐仁小学校の児童が観察した。時間をかけて産卵場所を準備し、涙を流して産卵する様子は、観察した人の心に強い印象を残した。

同校の柏本啓太教頭によると、18日午後7時半、地域住民が海岸を移動するアオウミガメを発見。住民らと佐仁小学校の児童1人を交えての観察会となった。ウミガメが前足、後ろ足を器用に使って

砂浜に30センチほどの穴を掘ると、観察して

住民と児童が観察 「元気な赤ちゃん生まれて」

いた住民らの期待感が高まった。しかしウミガメは産卵を始

めず再度移動を開始。1分後に2個目の穴を掘った。

そこでも産卵はせず、住民らの間にも諦めムードが漂った。しかしウミガメはさらに30センチほど移動。3個目の穴を掘り始めた。住民の一人が「そついでば、3回目の穴に卵を産むと聞いたことがある」とつぶやいた後、ウミガメは動きを止めて産卵を開始した。

ウミガメの息遣いに同調するように、少し大きめのピンポン玉のような卵が次

々と産み落とされた。砂まみれのウミガメの顔には、目から流れた涙が筋を作っていたという。

「例えよつのない神秘的な光景で、全員が言葉を失った」と柏本教頭は述べる。

産卵を終えたウミガメは、後ろ足で優しく卵に砂をかけ、4本の足で砂浜をきれいにならした。初めてアオウミガメの産卵を見た、佐仁小学校4年生の安住菜々美さん(9)は、「卵を守るために、三つも穴を掘ったウミガメはすごいと思いました。元気なウミガメの赤ちゃんが生まれるといいなと思いました」と感想を話した。

産卵の動画はYouTubeで視聴できます。佐仁のホームページの「PTAの部屋」から、「ウミガメの産卵シーン」をクリックしてください。

おめでとう!

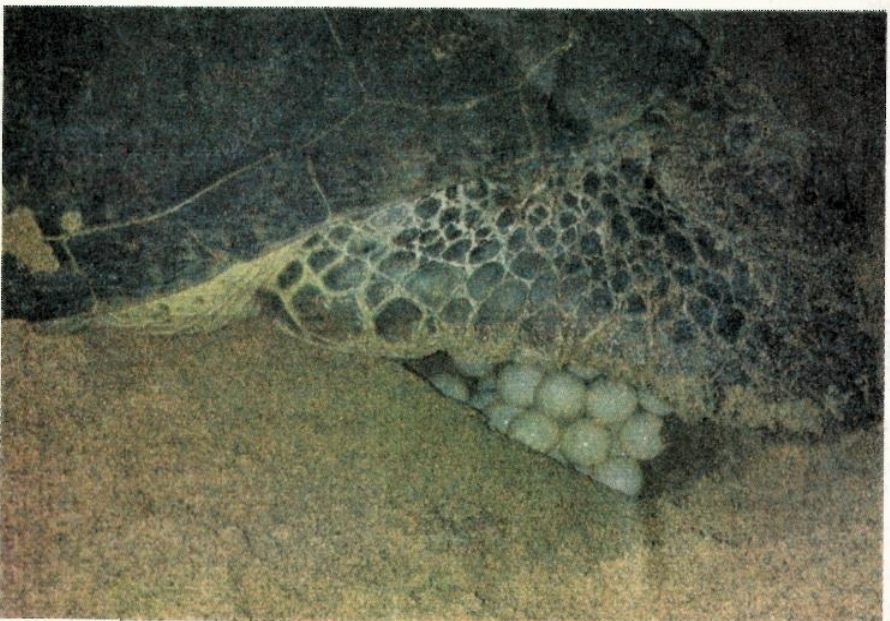
令和2年6月21日(日)

第7号

奄美新聞の6面にのいました。



穴を掘るウミガメ



ウミガメの卵(いずれも提供写真)



産卵するウミガメ

